

走り幅跳び日本新記録で見事優勝！

10月1日（日）宮城県で開催された「2023全国ダウン症アスリート陸上競技記録会」（日本パラ陸上競技連盟主催）に、幌延中学校2年の^{しまだりき}島田力輝くんが出場。走り幅跳び（中学生男子の部）では、向かい風0.1mの状況の中で、自己記録を大幅に更新する、3m10cmで見事優勝。更にこの記録は、これまでの日本記録2m95cmを15cm更新するビッグジャンプとなりました。また、100m走にも出場し18秒23で2位となり、こちらも自己記録タイムを1秒67縮める力走をみせてくれました。

島田くんは、幌延中学校で陸上部に所属。部活動が休みの日も幌延小学校のグラウンドを借りて、親子で練習に励んできました。「来年もこの大会に出場し、記録更新を目指します」とコメントしてくれました。

今後の活躍に期待しています。



走り幅跳びでの跳躍の様子



金メダルを手に優勝した^{しまだりき}島田力輝くん（左）と日本パラ陸連会長の増田明美氏（右）